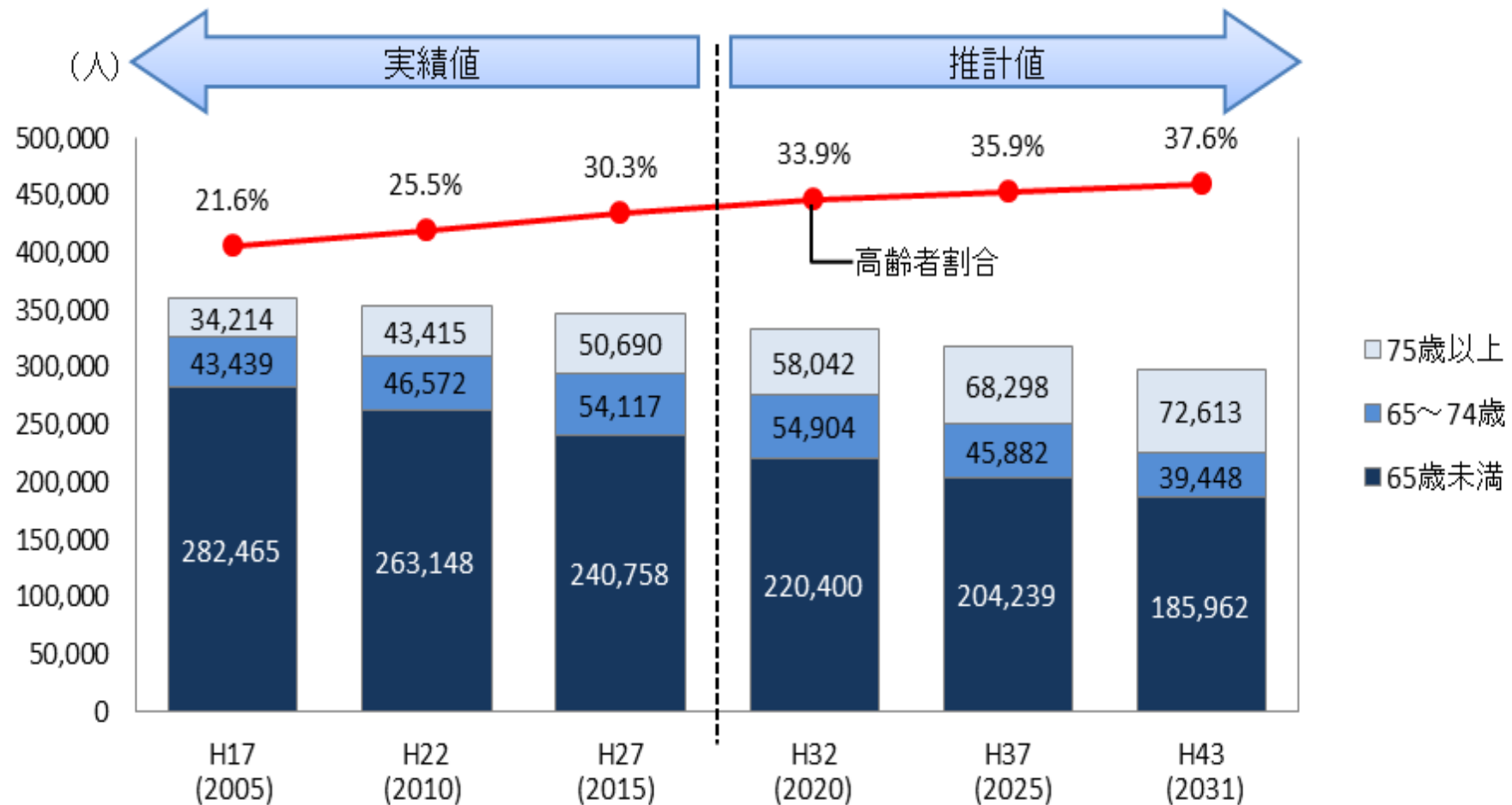


旭川市の住宅確保要配慮者の現状

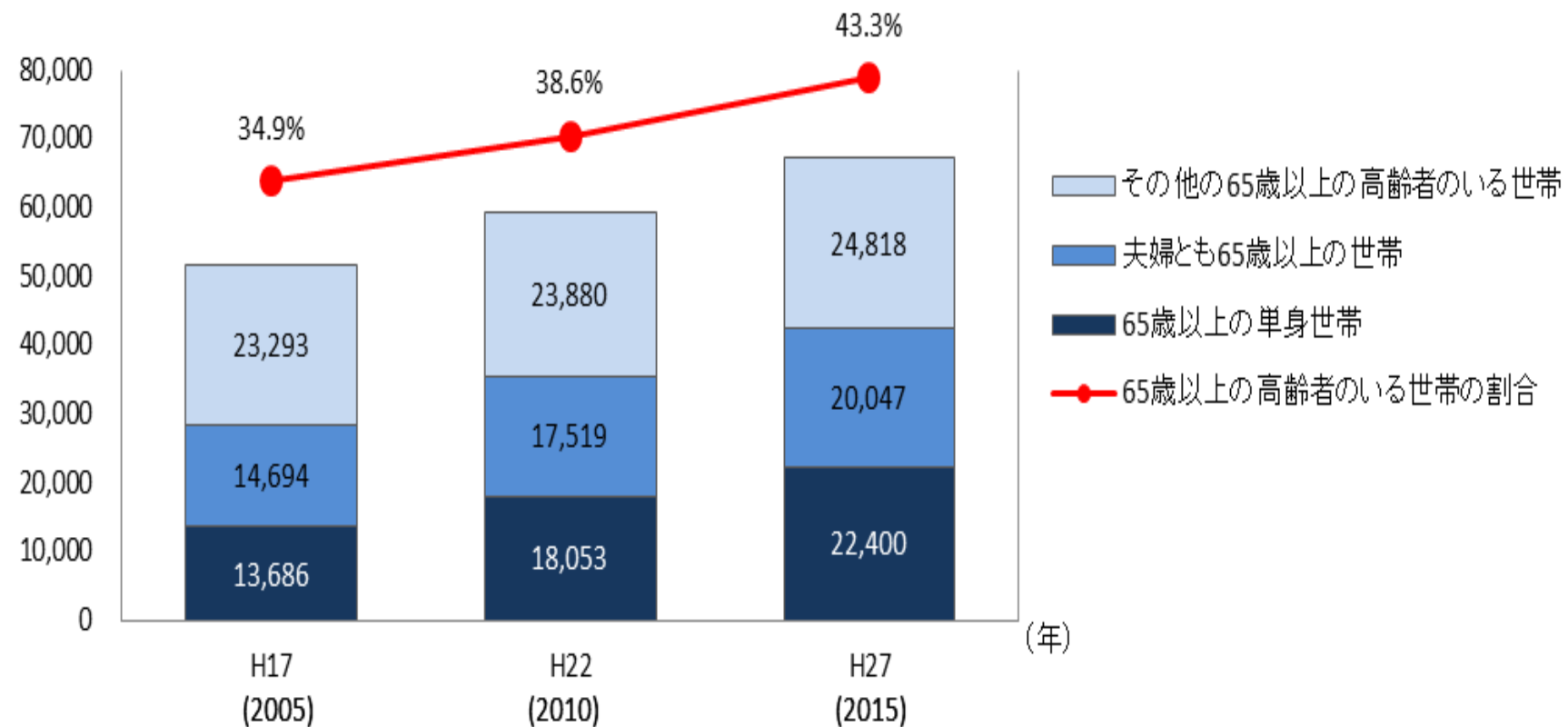
(1) 高齢者人口の推移



資料：旭川市福祉保険部（各年度平均）

65歳以上の高齢者人口は増加し続けており、総人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は平成17年の21.6%から平成27年には30.3%に上昇。

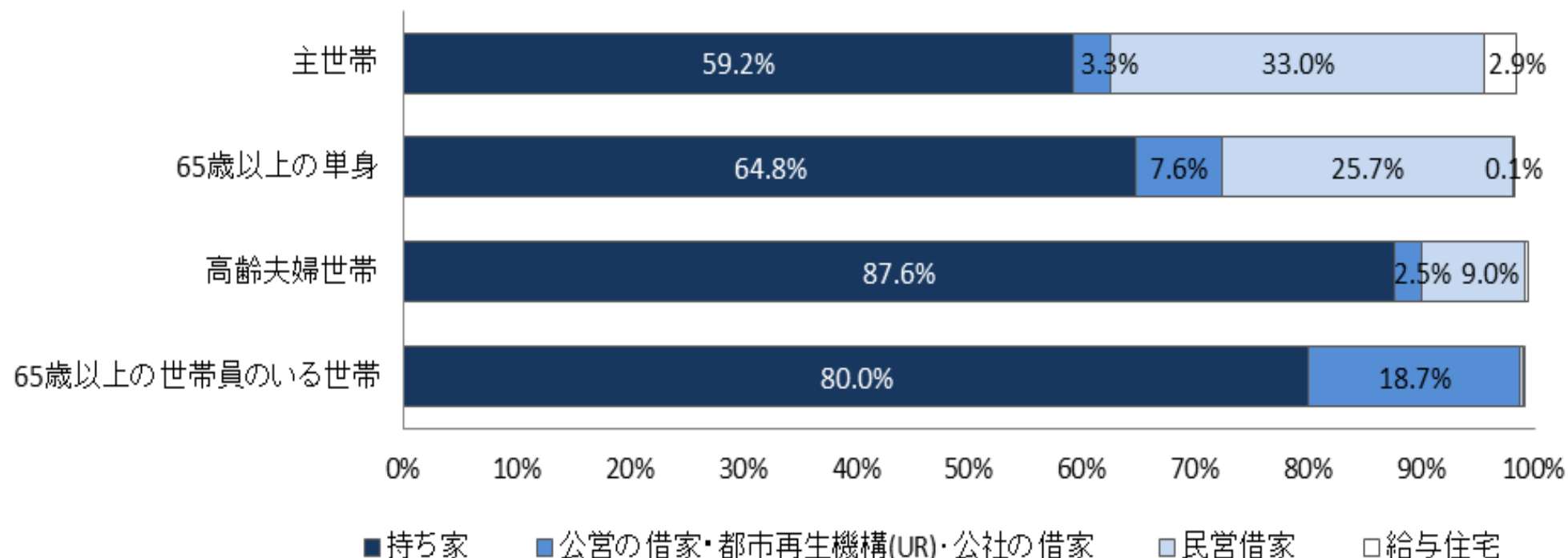
(2) 65歳以上の単身及び夫婦のみの世帯数の推移



資料：国勢調査

高齢者世帯のうち65歳以上の高齢者のいる世帯の割合は、平成27年時点で約4割となっている。また、65歳以上の単身世帯数が22,400世帯となっており、夫婦とも65歳以上の世帯数20,047世帯を上回っている。

(3) 高齢者世帯の住まい



※「主世帯」とは1住宅に1世帯が住んでいる場合はその世帯を、1住宅に2世帯以上住んでいる場合は、そのうちの主な世帯(家の持ち主や借主の世帯など)

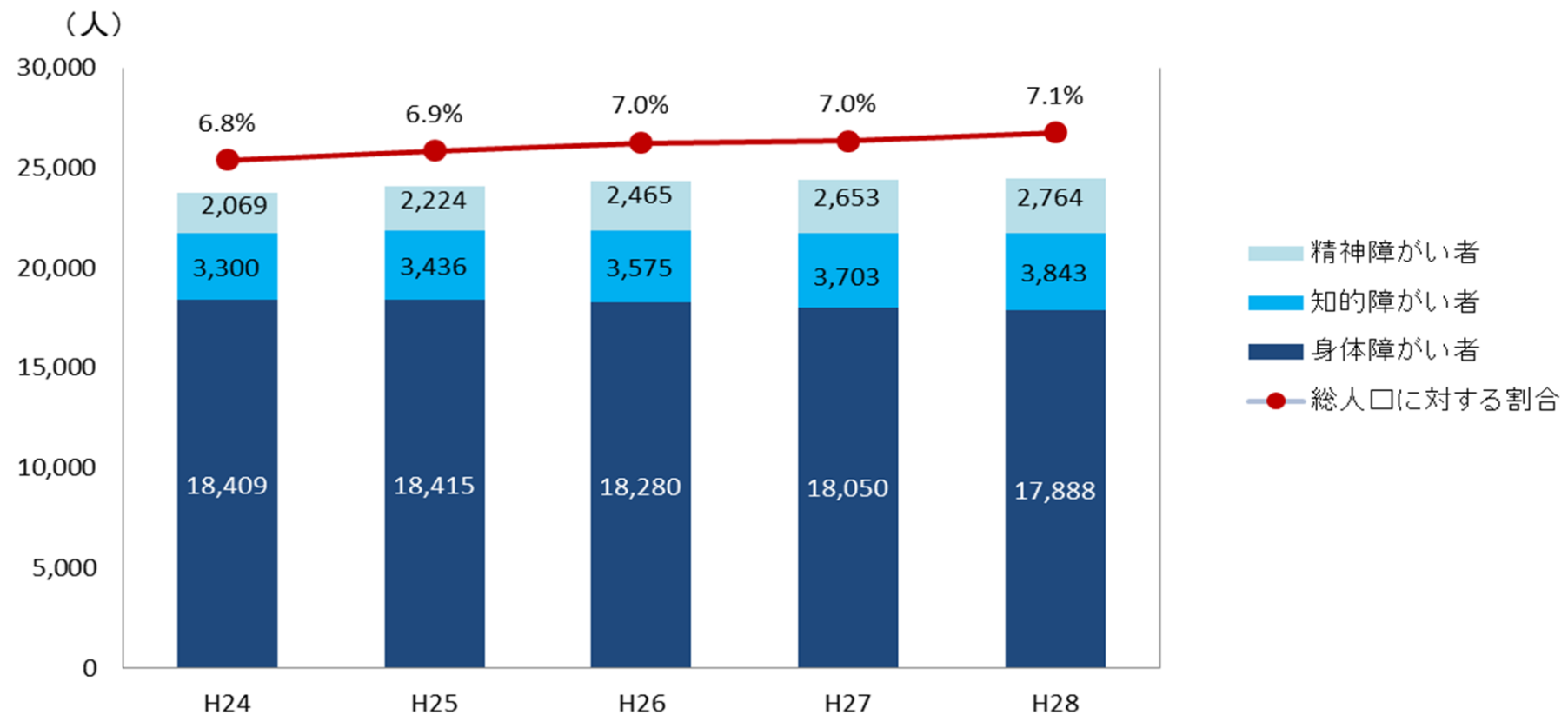
※「高齢夫婦世帯」とは、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯

資料：住宅・土地統計調査（H25）

高齢夫婦世帯では持ち家の割合が87.6%と一番高い割合となっており、民営借家の割合は9.0%にとどまっているのに対し、65歳以上の単身世帯では民営借家の割合が25.7%となっており、約3割が借家暮らしとなっている。

(4) 障がい者数(※)の推移

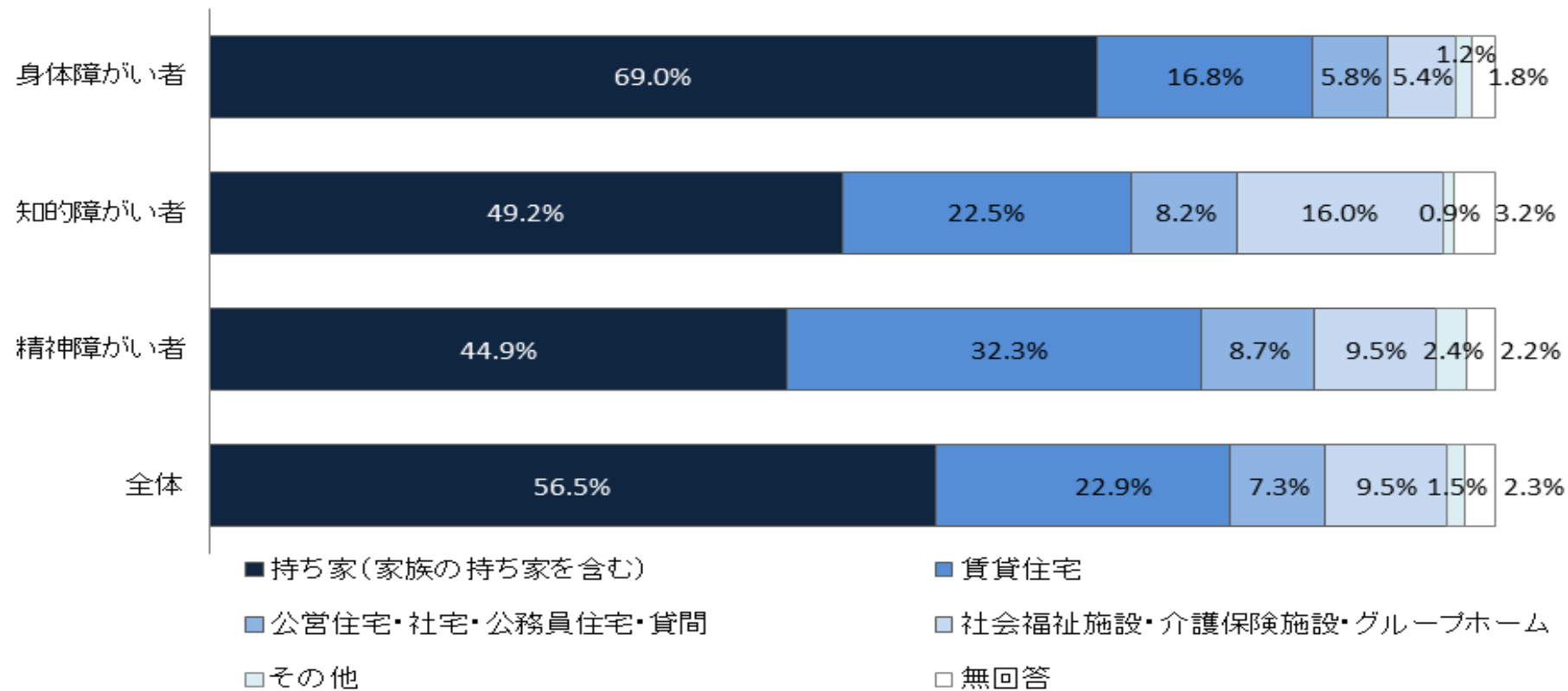
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者数の合計数



資料: 第5期旭川市障がい者福祉計画・第1期旭川市障がい児福祉計画(手帳所持者数)

各手帳所持者をベースとした障がい者数の合計は平成28年度末で24,495人となっており、総人口の7.1%となっている。うち、身体障害者手帳の所持者が最も多く17,888人となっている。

(5) 障がい者の住まい

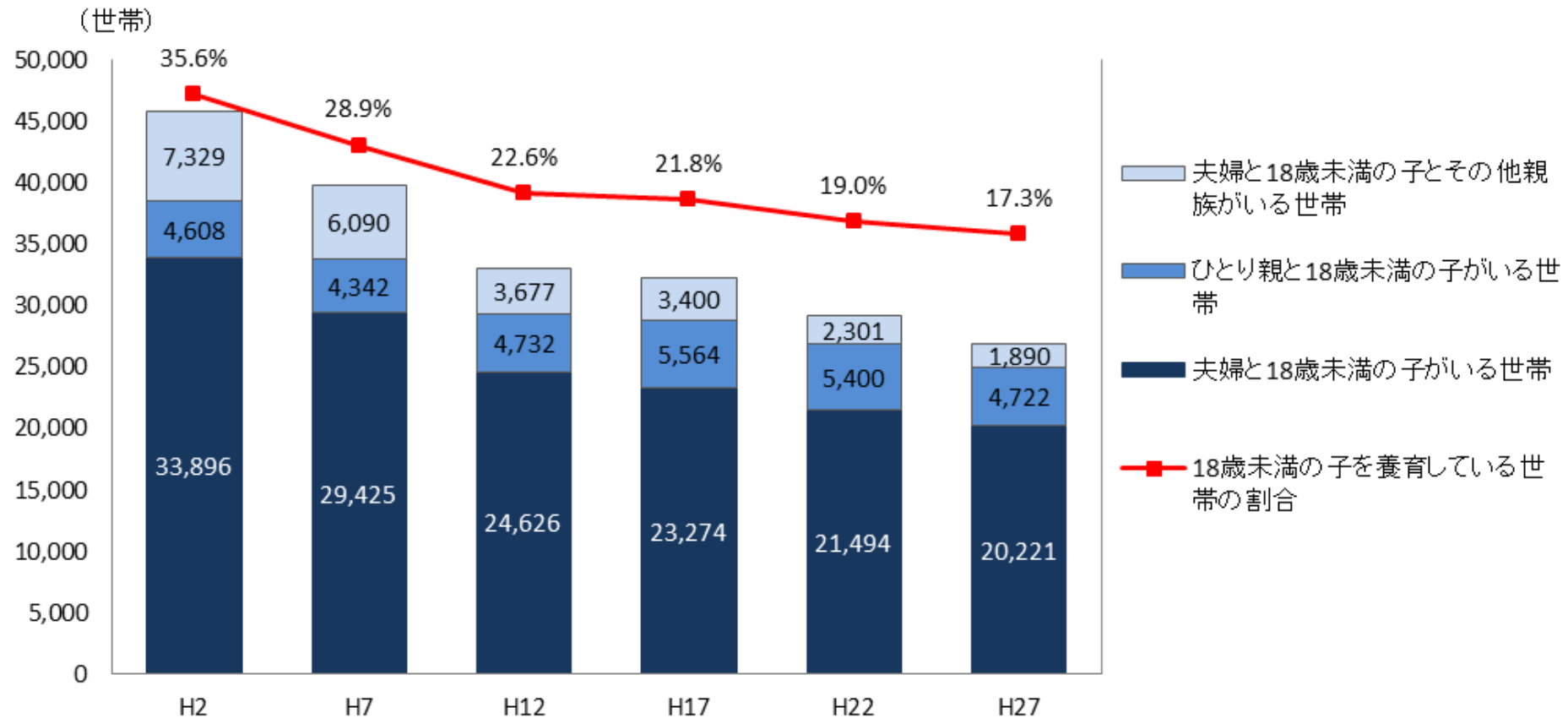


資料: 第3次旭川市障害者計画の策定に関する市民アンケート結果(H27)

障がい者全体で見ると持ち家の割合が56.5%と最も多い。賃貸住宅を住まいとする人は、精神障がい者では32.3%となっており、身体障がい者の約2倍の割合となっている。

(6) 子育て世帯数(※)の推移

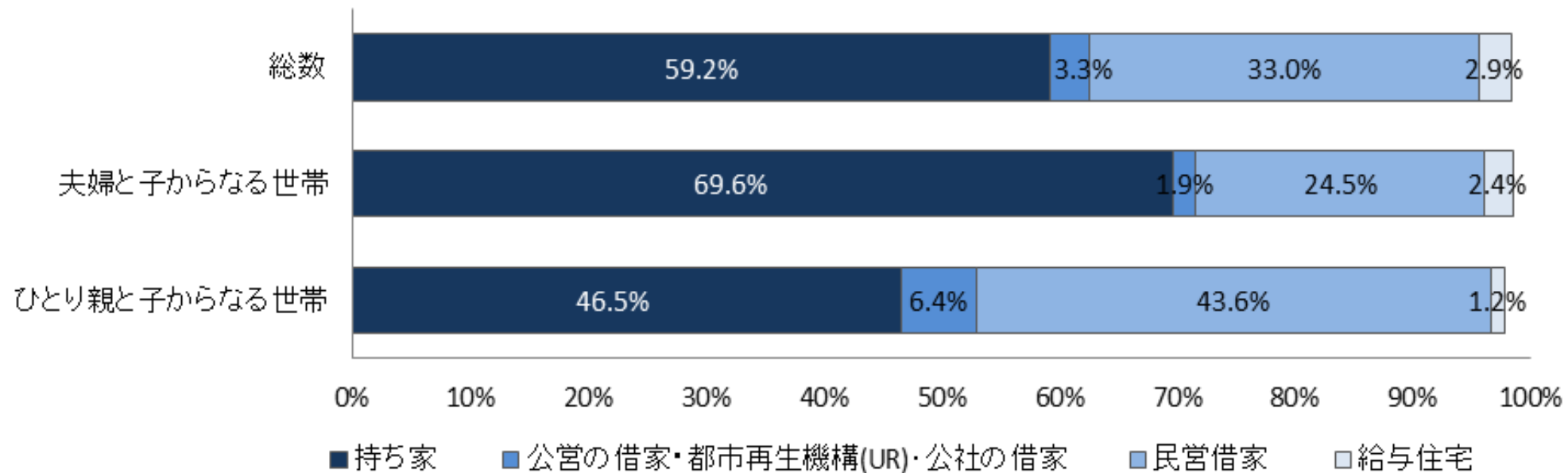
※18歳未満の子を養育している世帯



資料:国勢調査

18歳未満の子どもを養育している世帯数については、平成27年度で世帯総数の17.3%となっており、平成2年度の約半分の割合となっている。

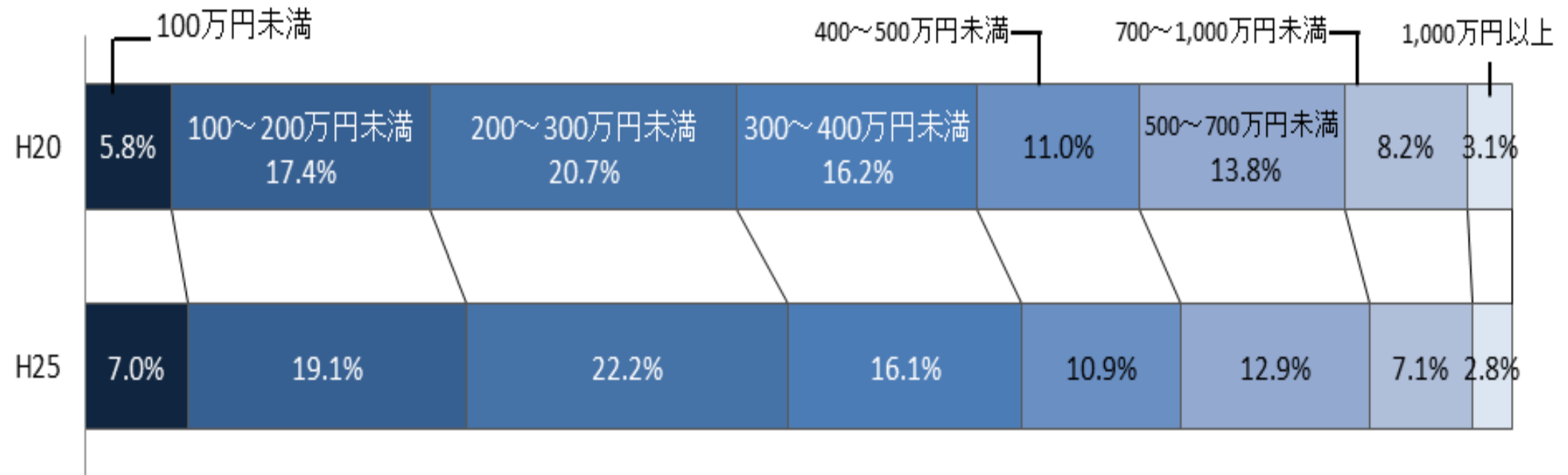
(7)子育て世帯の住まい



資料:住宅・土地統計調査(H25)

夫婦と子からなる世帯では持ち家の割合が69.6%となっており最も多いが、ひとり親と子からなる世帯では民営借家の割合が43.6%となっており、公営の借家等を合わせると50%を超える割合となっている。

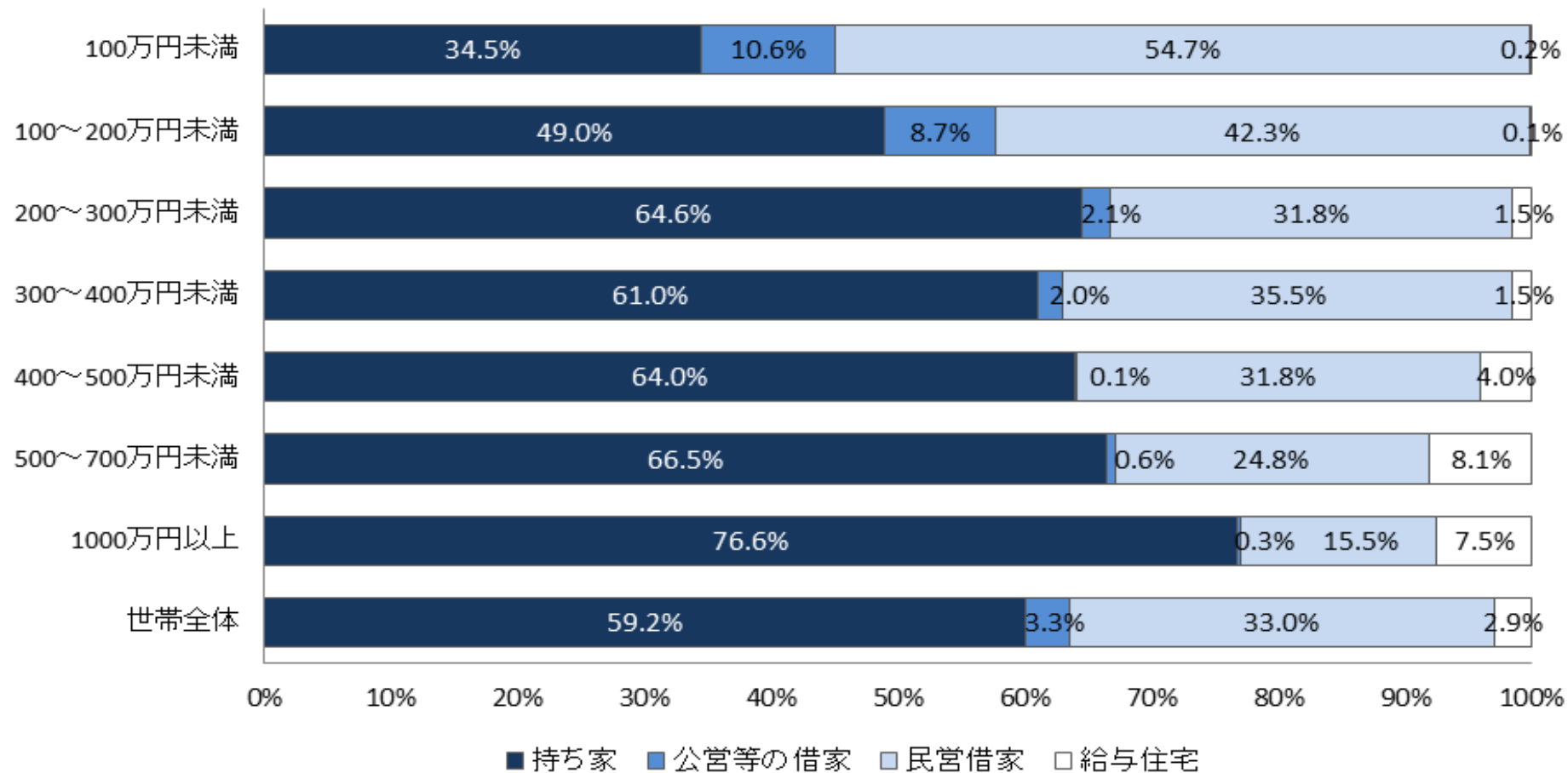
(8) 低額所得者世帯数の推移



資料：住宅・土地統計調査

1年間の収入が400万円未満の世帯は平成20年には世帯総数の60.1%であったのに対し、平成25年には64.4%と増加している(98,310世帯)。200万円未満の世帯の割合についても、23.2%から26.1%と増加している。

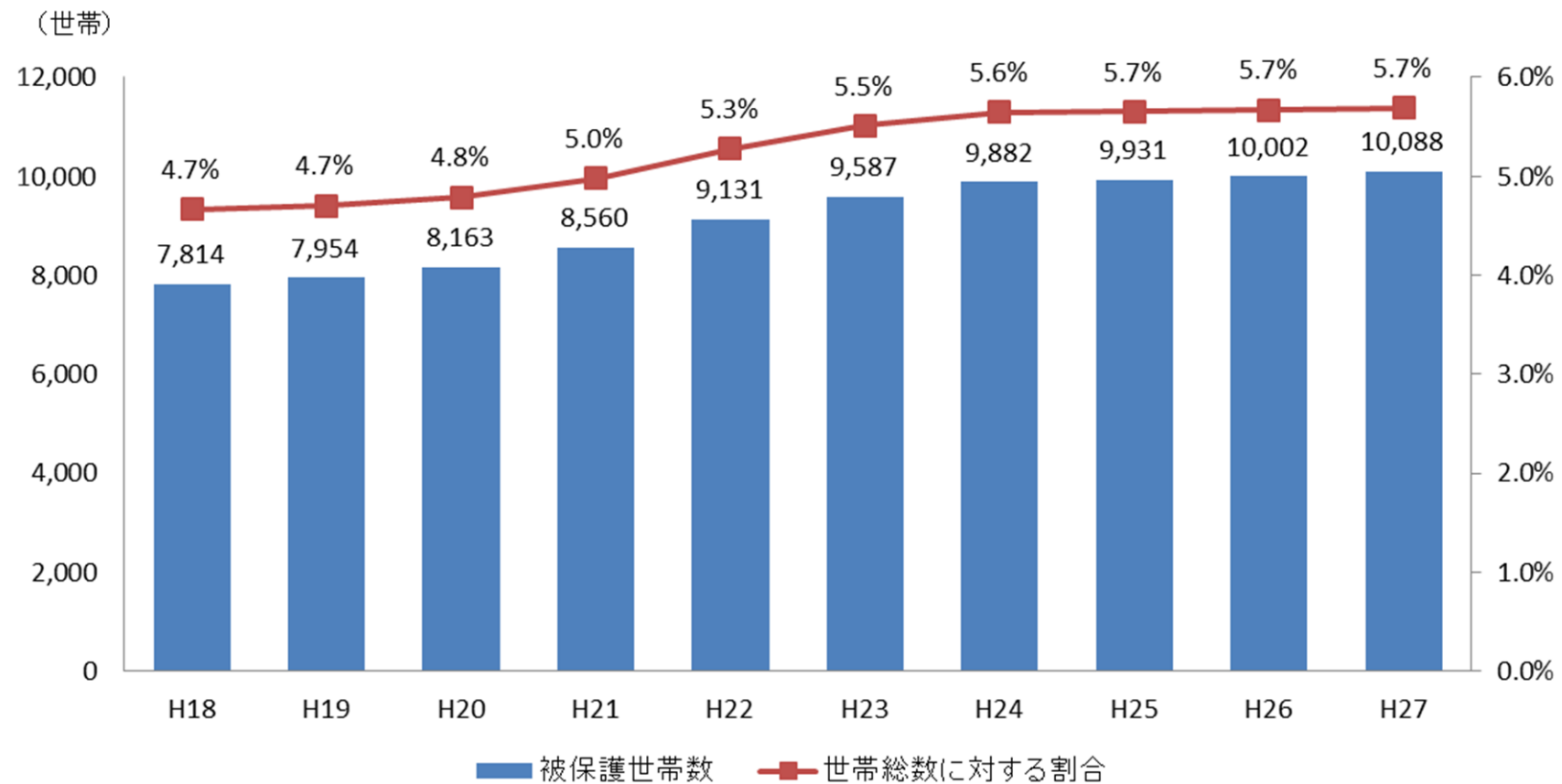
(9) 収入階級別の住宅の所有状況



資料:住宅・土地統計調査(H25)

世帯総数の59.2%は持ち家となっているが、年間収入が200万円未満の世帯では持ち家の割合が半数以下となり、借家の割合が高い。

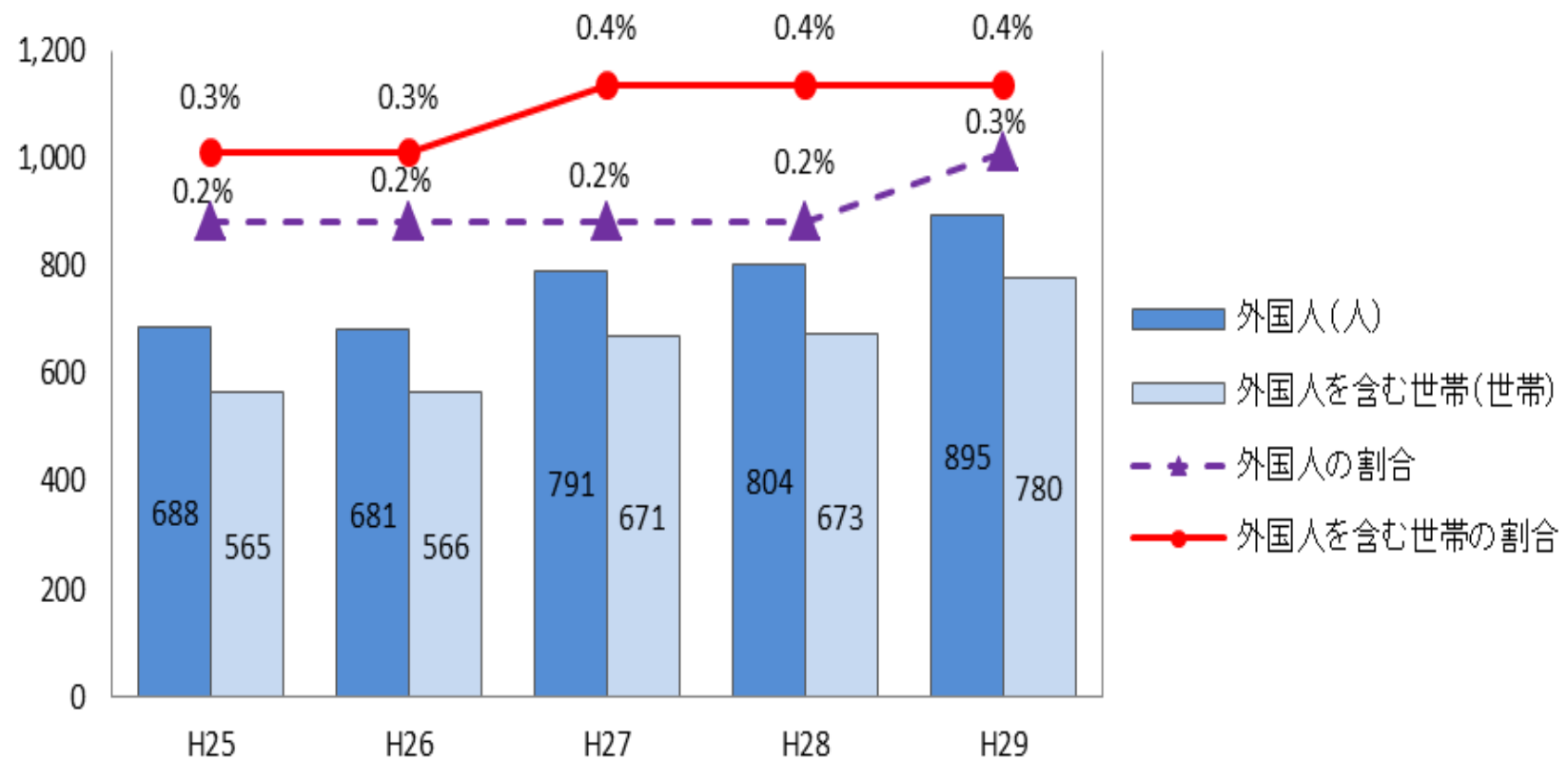
(10) 生活保護世帯数の推移



資料: 旭川市福祉保険部(各年度平均)

被保護世帯数は増加傾向にあったが、平成25年度以後はほぼ横ばいとなっており、平成27年度時点で世帯総数に対する割合は5.7%となっている。

(11) 外国人数の推移



資料: 旭川市住民基本台帳

平成25年から平成29年にかけて、外国人数・外国人を含む世帯数ともに増加している。